

# 報告書

2022 年 12 月 14 日

所属	山スクール トレッキング 2	氏名	SK
----	----------------	----	----

## (1) 概要

日時	2022年12月4日(日)9時～16時半ごろ	場所	京都、嵐山
テーマ	読図、岩場通過		
講師	古谷赴夫講師、徳田正彦講師		
目的	山スクールT座学実技⑨		

## (2) 報告事項

### 講習内容&所感

#### <講義内容>

- ・川原の石がゴロゴロしており、進む道を探しながら歩行。地図で時々現在地を確認
- ・一か所でロープをだしてもらい、ハーネスとカラビナで、5.6m登った
- ・川沿いを歩いている際は道を探しながらで比較的ゆっくりだったので、下山が日暮れ直前の16時半となってしまった。
- ・鳥ヶ岳から、計算すると17時ぐらいに下山予定になったので、ほぼ駆け足で下山。暗くなる前の16時半には嵐山駅に到着できた。
- ・今回のルートはスムーズに進めなかった。河原でも分かりにくい場所が数か所あり、山道でも予定しているルートより外れ、藪漕ぎまではいかないが、道なき場所をあるいた。道を見つけるのに時間がかかってしまった。

#### <所感>

- ・予定の時間を超えていることから鳥ヶ岳で講師から、エスケープルートをとるか、このまま予定通りのルートをいくか、生徒で相談して決めるように指示があった。予定通りのルートであれば、到着が17時になり、暗くなるのが必須なので、絶対にエスケープルートを取るべきと私は思ったが、ふみ跡が少ないエスケープルートの方が厳しい道になっていることが多いと生徒の一人の発言があり、なるほどと深く理解した。そういうことがあるというのを知れたのが私にとっては大きな勉強になった。
- ・今回は、ヘルメットやカラビナは持って行ったが、ハーネスを自宅に忘れるという失態をしてしまった。次回から持ち物には気を付けたい。

### 全体を振り返って

- ・道を見つけるのが難しい、道迷いになりやすいルートであった。地図でもなかなか分かりにくく、見落とししたり、違う分岐に進もうとしたりしてしまった。山歩きは慎重であるべきだと思った。
- ・暗くなる前に下山するため、途中でも予定時間をしっかり見ながら歩かなければならないと痛感した。いい勉強になった。